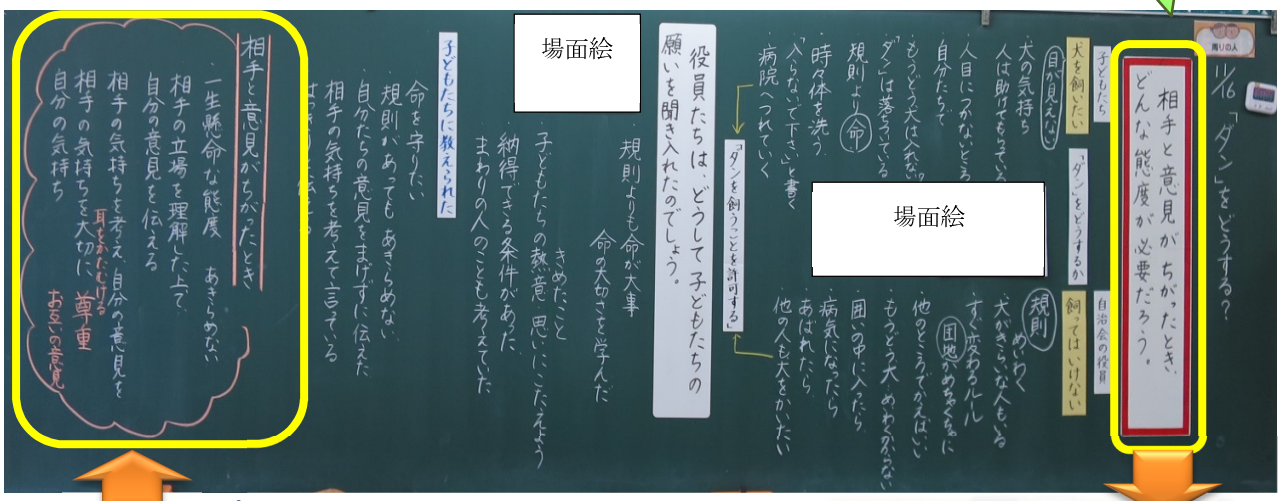
● 指導の実際（第６学年）

○今までの生活を振り返って自分を見つめ，課題について考えさせる。
（自分とのかかわり）

①今日新たに分かったこと，考えたこと
②今の自分について振り返り，これから生かしたいこと
２つの視点で振り返らせ，自分の生活に生かせるようにする。

事前アンケートと児童の日常の様子とのギャップから課題意識をもたせる。



なぜ？

自分たちの主張を通そうとすると話し合いは平行線のまま

でも，自治会の役員たちは，子どもたちの願いを聞き入れた。

相手の気持ちを考えて言っているから。
自分たちの意見もしっかり伝えているから。

子どもたち

どうしたら，ダンを飼うことを許可してもらえるかな。規則もわかるけど，命が大切。わかってもらうためにはどうしたらいいだろう。

それぞれの立場で考えさせる。

自治会の役員

団地のみんなが気持ちよく生活できるようにしないといけない。すぐ変わるルールだと団地はめちゃくちゃになる。

＜成果と課題＞　（　○成果　●課題と今後に向けて　）

○アンケートによる導入は，児童の実態把握をする上で有効である。アンケートと実態とのギャップから課題意識をもたせることで，ねらいとする価値への方向付けができた。導入のアンケートを終末でも使ったところが効果的だった。

○子どもたちと役員の両方の立場に立って話し合わせることで，多面的・多角的に考え議論し，違う意見も受け入れながら伝えることの大切さに気付かせることができた。

●どちらの立場も体験させたことを生かす発問をしていく。

●授業の中では，参観者には総合単元的道徳学習プログラムの取組がわかりにくかった。他教科等とのつながりを意識し，指導していく必要がある。